



KWANSEI GAKUIN
ELEMENTARY SCHOOL 2025年度 学校案内

 関西学院初等部
KWANSEI GAKUIN ELEMENTARY SCHOOL

16年にわたる 一貫教育の第一歩

“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成をめざして

関西学院では初等教育から大学・大学院までの概ね16年間を通して、
スクール・モットー“Mastery for Service”の精神を鍛え、それを体現する人材の育成をめざします。
初等教育は一貫教育の第一歩。多様な学び、そして他者とのかわりの中で、
将来社会で活躍するために必要な土台を築きます。

スクール
モットー

“Mastery for Service”

関西学院のスクールモットー“Mastery for Service”は、「奉仕のための練達」と訳され、
隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

ミッション
ステートメント

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うす
べての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見いだせるよう導き、思いやりと
高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”
を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

めざす
人間像

“Mastery for Service”を体現する世界市民

世界を視野におさめ、人への思いやりと社会変革への気概をもち、高い識見と
倫理観を備えて自己を確立し、自らの大きな志をもって行動力を発揮する人。

関西学院
一貫教育
の流れ



※2024年4月、大学名称を「関西学院短期大学」へ変更し「共学」となりました。

一貫教育を支えるキリスト教の教え

関西学院の一貫教育では、キリスト教主義に基づいた全
人教育を展開しています。初等部では毎朝の礼拝や聖書
の時間を通して子どもたちの豊かな心を育成。数多くの
教えの中でも、初等部で特に大切にしているのが「幼子は
たくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」
(ルカによる福音書2章40節)という言葉です。この言葉
には、神の豊かな恵みと愛に包まれて、心も体もたくまし
く成長してほしいという、初等部で学ぶ子どもたちへの深
い思いが込められています。



意志

高い倫理と
自立の精神を
備えた子ども

情操

感性豊かで
国際性を
備えた子ども

知性

論理的に考え
確かな学力を習得
する子ども

初等部聖句

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」

新約聖書ルカによる福音書 2章40節

初等部から 世界を導く 存在へ

社会でさまざまな変化が起こり、世界全体が不安定な状況を迎えている現在。人々はあらゆる垣根を越えて、他者に寄り添い、共に歩むことを必要としています。創立者のウォルター・ラッセル・ランバスの理念と精神を表すスクール・モットー、“Mastery for Service”。初等部では「社会と人のために、自らを鍛える」と訳され、子どもたちの高い倫理観や豊かな感性、国際感覚、そして他者に寄り添う奉仕の精神を育むための土台として伝えられています。“Mastery for Service”を体現することが、まさに今世界で求められている人材になることであり、初等部から羽ばたいていく子どもたちはこれからの時代を導いていく存在となるでしょう。

学校法人関西学院 院長 中道 基夫

関西学院は幼稚園から大学・大学院を有する総合学園であるとともに、卒業生の皆さんとのつながりを大切にしている生涯教育機関でもあります。その目指すところは「“Mastery for Service”を体現する世界市民」の育成であり、その実現のために関西学院ファミリーが一体となって協力しているところに教育の特徴があります。もう一つの関西学院の教育の特徴は、キリスト教に基づいた人間理解です。人間は、からだ・心・魂によって成り立ち、この3つが満たされてこそ健康であると言えます。聖書に「人が独りであるのは良くない」（創世記2章18節）とあるように、人とそして自然と共に生きることによって私たちの幸福が実現します。この二つの根底にあるのが、「あなたは愛されています」という聖書の言葉です。子どもたちが、関西学院ならではの教育に出会ってくださることを願っています。それは、子どもたちの魂に生涯消えることのない光と暖かさを与えてくれるでしょう。



関西学院 初等部長 福万 広信

関西学院初等部の一日は礼拝から始まります。心を静め神と自分に向き合う礼拝は、初等部が最も大切にしている時間です。子どもたちは、讃美歌を歌い、聖書の教えに耳を傾けながら、感謝の祈り、また困難な状況にある人々のために祈りをささげ、スクールモットー“Mastery for Service”に基づくメッセージを受け取ります。6年間で約1200回、子どもたちはこの礼拝を通して自らの歩みを振り返り、自分はどう生きるのかということ深く考えながら日々生活しています。この経験は必ず子どもたちの生きる力となり、人生を支える土台となっていくことでしょう。初等部のキリスト教主義教育の中心は、子どもたち一人ひとりを価値ある存在として、ありのままを受け入れ、誰ひとり取り残さない教育です。自分が愛され、かけがえのない価値があると感じられる子どもたちは、自らも誰かを愛する人、大切にされる人として成長していきます。やさしさや思いやりにあふれた学校で育つ子どもたちは、必ず誰かに寄り添い、誰かの支えとなり、誰かを助けて生きていく、それを自分の喜びとして歩む人になります。今の時代をたくましく生きる知恵と力を身につけ、他者を愛し、他者のために生きようとする子どもたちを私たちは育ててまいります。



初等部

4 つの柱

聖書・礼拝

Bible

礼拝や聖書の時間を通じて、人を思いやる気持ち、小さなことに感謝できる心を育む。

国際理解

Global

英語力を高め、コミュニケーションを楽しみながら、異なる価値観の獲得をめざす。

全員参加・理解

Universal

みんなで主体的に問題解決を図りながら、確かな学力の獲得をめざす。

本物

Authentic

文化、スポーツ、芸術、自然に触れる機会を通じて、豊かな感性を育む。

初等部の柱 1

Bible

 | 聖書・礼拝 |

人を愛し、愛されるリーダーへ。

こころの時間



毎朝の礼拝から、 人や社会を思いやる心を育む

全校児童と教職員がチャペルに集い、讃美と祈りをささげ、聖書の御言葉に耳を傾ける毎朝の礼拝。子どもたちは、礼拝で語られる言葉や問いかけから、スクール・モットー“Mastery for Service”(社会と人のために、自らを鍛える)の精神を学び、「生きること」に静かに向き合います。この時間が人生のさまざまな困難を乗り越えていく力となり、人や社会を思いやる豊かな心を育てていくと考えています。



聖書の時間



聖書の教を学び、 たくましく思いやりある人間へ

聖書の授業では、一人ひとりの存在価値や他者愛を愛して生きることを学びます。聖者の言葉は、人生のさまざまな場面で勇氣や希望を与えてくれます。この授業を通して、子どもたちは力強く生きるためのたくましさと思いやりの心を育みます。

自然体験
キャンプ



自然の中で聖書の言葉に触れ、 静かに自分を振り返る

関西学院所有の千刈キャンプ場をはじめ、自然豊かな環境で行われます。日常生活を離れ、豊かな自然の中で聖書の言葉に触れる体験や、さまざまなプログラムから、新たな発見や気づきを得た子どもたちは、ひとまわり大きく成長します。

VOICE

チャペルは私にとって、とても落ち着く場所です。先生や上級生のお話を聞くことができ、新しい発見があります。たとえばミントの芽は最初は小さな一粒だけですが、成長するとたくさんの葉っぱが育ち、私たちと同じように成長していくというお話を聞いて、とても面白いなと感じました。私たちは毎日聖書の言葉を聞いて、一粒の小さな種と同じように少しずつ大きくなっていくんだと思います。



初等部の柱 2

世界市民の一步をふみだす。

Global

 | 国際理解 |

カナダ・
コミュニケーション・
ツアー
(CCT)



異なる言語や文化に触れ、 世界市民としての基礎を養う

世界市民としての基礎を養う初等部では、英語でのコミュニケーション力、国際感覚、豊かな感性を伸ばす集大成として、6年生を対象に「カナダ・コミュニケーション・ツアー(CCT)」を実施。姉妹校Hollyburn Elementary Schoolの児童や現地の方々と交流する中で、文化や環境が異なる相手の思いを正しく理解し、英語で自分の思いを伝えることの難しさや大切さを学びます。



CA(カルチュラル・アンバサダー)さんとバンクーバーにあるスチーム・クロックを探しに行きました。美しい街並みを楽しむなど、貴重な体験は思い出に残っています。



とてもフレンドリーなCAさんと宿泊先の1つであった大学の構内を歩きました。カナダについていろいろなことを教えてもらい、楽しい時間を過ごしました。



現地の方と、漢字やひらがななど、日本の文化についてジェスチャーを交えて話しました。言葉をどう使うかだけでなく、伝えようという気持ちが大切なんだと実感しました。



ホストファミリーはとてもやさしく、手作りのピザを用意してくれたり、海に連れて行ってくれたり、親切に私たちを気にかけてくださいました。

VOICE

英語の授業では発表やテストだけでなく、私たちが喜びゲームやジェスチャーなど、声に出して英語にふれることができるので、とてもわかりやすいです。さらに先生は休み時間も遊んでくれてやさしいです。だから私は英語の授業が面白い楽しいです。



毎日英語
に触れる



6年間の英語指導で、 基礎から応用までを身につける

1・2年生は毎日20分、3年生以上は45分授業を週3回、20分授業を週2回実施。ネイティブ教員による生の英語と日本人教員の日本語によるポイント解説を組み合わせ、6年間で英語の基礎力から応用力までを身につけます。



韓国との
交流



英語を用いて 他国と交流する

韓国の小学校とインターネットを通じて交流し、夏休みには代表児童による訪問交流を行います。また韓国以外の国とも、英語を通じた交流活動を行っています。

SDGs Report

献金活動

世界の人々に 健康で幸せな生活を

毎年クリスマスには、国内や世界の人々のために献金を募ります。また大きな災害などが起こった時にも、献金を行い、苦しみの中にある人々のために祈ります。



英語
検定



自ら高い目標を設定し、 実用英語技能検定(英検)に挑戦

子どもたちの英語への関心を高めることをめざし、本校を準会場として毎年1回英検を実施しています。5・6年生は全員、1~4年生は希望者が受験。より高い級の取得を目標に定め、互いに励まし合いながらチャレンジしています。



関西学院大学
留学生と
交流

留学生とのコミュニケーションが、 世界へと視野を広げる機会に

4・5・6年生は関西学院大学の留学生とランチタイムなどに英語で交流を行います。さまざまな国籍の学生とのコミュニケーションを体験することで、他国との文化や環境、考え方の違いを学びます。



Universal | 全員参加・理解 |

全員で「わかる」。全員で「助け合う」授業。



発言しやすい教室づくりで、
他者意識を高める

キリスト教主義に基づき、「誰一人取り残さない」授業をめざします。子どもたちが常に「よりよい私たち」をめざせるように、お互いのかかわり合いの質を高め、他者に共感する能力や思いやりの心を育みます。そのためには、子どもが安心して授業に参加できる環境とすることが重要です。答えを間違えても肯定的に受け止め、それを新たな学びを生むきっかけとするなど、子どもが安心してアウトプットできる教室づくりをめざしています。

学びの内容を整理しながら、
さまざまな表現力を身につける

学習の節目において、学んだことを振り返り、それを自分の言葉で表現します。時には文章だけでなくイラストや図解を入れるなど、創意工夫を凝らし、わかりやすく表現する力を養います。

相手にわかりやすく伝えることが、
思考の整理に役立つ

授業では、子どもたちが教室の前に立ち、友達に対して自分の考えを説明する機会を多く設けています。これによって、「物事を論理的に思考し、整理する力」が身につきます。



VOICE
初等部の授業では、みんなとても積極的です。友達の中には面白い意見や、考え方をしている子がたくさんいます。色々な意見や考え方を隣の子やグループで話し合ったりして、授業を進めていきます。その中で新しい発見があったりすると、クラス全員で盛り上がります。



本物を知る。自分を知る。

Authentic | 本物 |

VOICE
広島平和記念資料館の展示は想像していたよりも怖く感じました。写っている人の幸せだったり、日常だつたりを思うと、とても胸がいたくなりました。また被爆された方のお話を聞いて、当時の日本はとても貧しかったけど、中でも幸せを見つけて日常を楽しんで生きていらつたということを知りました。



平和の尊さを学び、
心のつながりを体験する

江田島で民泊先の方々と交流します。

5年生では平和を学ぶ旅として被爆地である広島を訪問。平和記念公園のさまざまな施設や記念物を見学したり講話を聞いたりして、「戦争」を自分の体で感じ取り、平和の尊さを学びます。また、広島県江田島市の皆様のご協力のもと民泊を体験。各民泊先で住民の方と交流することで、温かい心のつながりを実感します。

SDGs Report

1 教員の声

子どもたちの「個」が活きる
関わり合いづくりをめざす

授業では、一人ひとりの学習スタイルに合わせた追究の時間を設定しています。一人で学びを進める者、ペアやグループで相談しながら学ぶ者など、人によってさまざまです。考えを全体で共有する際には、わかったことだけでなく、わからないことも共有します。クラス全体で考えを練り上げるためです。子どもたちは多くの仲間との関わり合いに刺激を受けながら、大きく成長しています。互いをよく理解し、認め合い、安心して自らを表現できる環境づくりを心がけています。

松本 慎也 教諭



SDGs Report

15 自然体験キャンプ

豊かな自然の中で、
自分自身の成長を実感

関西学院千刈キャンプで行われる自然体験キャンプでは、3年生の子どもたちが自然体感プログラムやザリガニ釣り、キャンプファイヤーなどを体験。自分の役割を意識しながら仲間と協力して生活することで、新しい自分に出会うことができます。

15 種の豊かな自然を学ぶ

田植え体験

田植え体験を通して、
新しい学びを得る

5年生の子どもたちは、農業への理解を深めるために、関西学院同窓会の皆様のご指導のもと田植えを体験します。自分の手で苗を植える貴重な経験は、食の大切さを学ぶよい機会となっています。



KGSO

大学生との交流を通して学ぶ、
「本物」のスポーツ

(Kwansei Gakuin Sports Omnibus)

動画で詳しく!

関西学院大学体育会会の学生によるスポーツ教室を受講します。子どもたちは、大学生アスリートたちによるプロさながらのプレーを観戦。自身も一緒にプレーすることで、「本物」のスポーツの楽しさを学びます。

音楽祭

心をひとつにして
感動の舞台をつくりあげる

「届けよう心のハーモニー」をスローガンに、毎年11月に音楽祭を開催します。合唱や器楽合奏など、各学年が練習の成果をチャペルや中央講堂で発表。児童全員で目標に向かって支え合う中で、仲間という存在の大切さを実感します。

宝塚歌劇鑑賞

地元宝塚で過ごす
夢のような時間

6年生は卒業の思い出のひとつとして、宝塚歌劇を鑑賞します。子どもたちはタカラジェンヌの歌や芝居、ダンスなど、磨き上げられたプロの技に触れることで、地元の文化の素晴らしさを体感します。

文化芸術教室

演劇、ミュージカル、合唱など
さまざまな芸術に触れる

全学年で毎年違う内容の芸術公演を鑑賞します。子どもたちは専門家のパフォーマンスを通じて、それぞれの芸術の魅力を実感します。

深化を続ける初等部の学び

ICT教育



ICTを活用した
新たな教育の在り方

社会の情報化が急速に進む中、教育においても「ICT(情報通信技術)」が積極的に導入されています。初等部では、各教室および特別教室にプロジェクター、PC、書画カメラ、AppleTVなどを配備。主要教科においてはデジタル教科書を用いて、日々の学習に効果的に活用しています。



VOICE

iPadを使った授業では、わからないことをすぐに調べられているいろいろな発見があります。プレゼンテーションをする時、文字だけでなく写真や絵を使って表現することができるので、とてもわかりやすいです。また、クラスのみんなの考えや意見を見ることができて、「なるほど!」「わかった!」と思うことがたくさんありました。



5教科



「なぜ」を追究する姿勢が
学びの理解を深める

初等部では教科を問わず、「なぜそうなのか」「それぞれの知識や事象がどうつながるのか」を追究することを大切にしています。各教科で身につけた知識と知識を結びつけて考え、学びを活用する力を習得。与えられた問題を自分の力で解決する姿勢を身につけることは、より深い理解につながります。

各教科の
特色

算数

算数の楽しさを感じながら、「数量や図形についての概念や性質」を考察する力を身につけ、学力の確かな定着を図ります。

理科

机上の学びだけでなく、実験や観察などを体験することで、科学的な思考力や判断力を培います。同時に、身の周りの現象、自然への関心や問題意識を高めます。

国語

低学年では内容を正確に読み取ること、高学年では理解した内容を自ら表現することを通じて、学びの理解を深めます。

英語

学年に応じて、段階的に語彙や4技能を習得します。将来に役立つ英語力の基礎と、積極的なコミュニケーション力が身につきます。

社会

グローバルな視点で物事を考える力を養うと共に、主体的に社会とかかわり、他者の気持ちに寄り添い判断する力を習得します。



Point 1 児童全員が
1台ずつiPadを所有

児童全員が1台ずつiPadを所有しています。「ロイノート・スクール」などのアプリを活用することで、教師と児童、あるいは児童同士が自らの意見を交換し合う双方向型のやり取りが活発化。児童の主体性を育むことはもちろん、協働学習の促進にもつながっています。



Point 2 全国初
「スタディサプリENGLISH」の導入

5・6年生の授業および家庭学習を対象に、「小学校としては全国で初めて」スタディサプリENGLISHを導入しました。本来中学生を対象とするこのアプリは、ゲーム感覚で楽しみながら、自分のレベルにあった内容を進めることができます。これにより、自分のペースで英語を学ぶ「個に対応」した学習環境を実現しています。

教員
研修



よりよい授業環境を
めざす

子ども同士のかかわり合いの質を高めるためには授業がどうあるべきか、理想の学びに向き合う教員研修に力を入れています。各教員が互いに授業を公開し評価し合う授業検討会や、読書会、勉強会などを積極的に行うことで、よりよい学びの場づくりをめざします。

実力
テスト



自分の学力レベルを
見極める

自分の学力レベルを測るため、年に1回、3学期に全国的テストに挑戦します。毎学期行われる期末テストと合わせて、1年間で身につけた学力を自分自身で確認し、今後の学習目標の設定を行います。

教科
担任制



それぞれの教科を
専門的に学ぶ

1~4年生は音楽、図工、聖書、理科、生活科、英語の授業、5・6年生は国語、算数を含めた科目で教科担任制を採用しています。専門性の高い授業で、中学部への進学を見据えた応用的な内容にも取り組みます。

初等部での1day

安全・安心への取り組み

登校



警備員、PTAに見守られながら、毎朝元気に登校。社会の一員として、ルールやマナーを身につけます。耐震性、防犯性に配慮し、万全の安全対策を施した校舎が子どもたちの学校生活を守ります。



8:00

こころの時間



一日のはじまりは「ベーツチャペル」での礼拝からスタート。聖書の言葉に耳を傾け、讃美歌を歌い、祈りをささげます。



8:40



午前の授業



午前中は45分の授業を1~4限まで実施。学びが楽しくなるさまざまな授業を行っています。



9:00

ランチタイム



教室やダイニングルーム、芝生でみんなと一緒にランチタイムを過ごします。また、家庭だけでなく学校でも食育について学びを深めるため、お弁当を持参していただくよう各家庭にお願いしています(外部業者へのサンドイッチ・お弁当注文制度もあります)。



12:40

フリータイム



校庭や芝生で、友達と元気に遊びます。自分たちで遊びを創造することも大切な学びの一つです。



13:05

クリーンタイム (木曜日のみ)



掃除の習慣を身につけると同時に、役割分担しながら協働する大切さを学びます。



13:05

午後の授業



午後は学年ごとに異なりますが、5~7限の授業を実施。終礼まで元気な声が響きます。



13:25

放課後



メディアセンターで本を読んだり、グラウンドで遊んだり、思い思いの時間を過ごします。



15:15

下校



正門前から続く木々のできたアーチを抜けて、友達と仲良く下校します。



16:00

初等部での1年



- | | | | |
|--|--|---|---|
| <p>4月</p> <ul style="list-style-type: none"> 入学式 1学期始業礼拝 新入生を迎える会 地区集会 なかよし集会 健康診断 | <p>5月</p> <ul style="list-style-type: none"> 身体計測 イースター礼拝 交通安全教室 授業参観・学級懇談会* PTA総会* | <p>6月</p> <ul style="list-style-type: none"> なかよし遠足 自然体験キャンプ 避難訓練(火災) 6年カナダ・コミュニケーション・ツアー 個人懇談会* ペンテコステ礼拝 | <ul style="list-style-type: none"> 5年田植体験学習 春季宗教週間 花の日礼拝 聖書講座・授業参観* 1年阪急電車西宮車庫見学 |
|--|--|---|---|



- | | | |
|---|---|--|
| <p>7月</p> <ul style="list-style-type: none"> 水泳教室 学期末テスト 4年自然体験キャンプ 1学期終業礼拝 家庭訪問 | <p>8月</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人懇談会* 教育講座* 5年平和を学ぶ旅 | <p>9月</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏期休暇 2学期始業礼拝 創立記念礼拝 身体計測 授業参観・学級懇談会* |
|---|---|--|



- | | | | |
|---|---|---|--|
| <p>10月</p> <ul style="list-style-type: none"> 命を守る学習(防犯) 3年なかよし宿泊 2年千刈キャンプ | <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> 聖書講座* 秋季宗教週間 音楽祭 | <p>12月</p> <ul style="list-style-type: none"> 収穫感謝礼拝 教育講座* 体育祭 | <ul style="list-style-type: none"> 学期末テスト クリスマス礼拝 2学期終業礼拝 個人懇談会* |
|---|---|---|--|



- | | | | |
|--|--|--|---|
| <p>1月</p> <ul style="list-style-type: none"> 3学期始業礼拝 身体計測 避難訓練(地震) 授業参観* | <p>2月</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育講座* 作品展 マラソン大会 | <p>3月</p> <ul style="list-style-type: none"> 作品展 聖書講座* 文化芸術教室 | <ul style="list-style-type: none"> 学期末テスト 卒業生を送る会 卒業式 修了礼拝 授業参観・学級懇談会* |
|--|--|--|---|

※保護者対象

一貫教育で、国際性・人間性豊かな 実力ある世界市民を育む

キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」である関西学院。
初等教育から大学・大学院に至るまでの一貫教育を通して、スクールモットーである
“Mastery for Service”を体現し、より良い社会をつくる人材の育成をめざしています。

関西学院の一貫教育・併設校

関西学院初等部

意志・知性・情操を育む
生きるための心と知性を学ぶ
社会と人のために自らを鍛え、将来
大きく咲かせる夢の“種”を発見する6
年間。キリスト教主義教育のもと「意
志・知性・情操」の基礎を固めます。



関西学院中学部

5つの学びを柱とし、
「感謝・祈り・練達」を理念とした
全人教育

キリスト教主義教育・読書・英語・体育・芸術を教育の柱として、受験勉強に縛られない、豊かな学びを実施。確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕する実践力を養います。



関西学院高等部

多様なカリキュラムを通して、
人間性を育む

大学や社会に必要な学力や教養を身につけるためのさまざまなカリキュラムを展開。普段の学びの他に、キリスト教教育、人権教育、課外活動を積極的に行うことで、総合的な人間性を醸成します。



千里国際中等部(SIS)

国際色豊かな環境で
最先端の教育活動を展開

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環境の中で、「知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人」の育成を図ります。



千里国際高等部(SIS)

中等部で作った基礎力をベースに
進路・興味に合った授業を履修

「5つのリスペクト」という行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時間割システムで学ぶ意欲を引き出します。



関西学院大学

社会に貢献する「世界市民」をめざし、
幅広い知識と深い専門性を身につける

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題発見・解決能力、実行力を養成。思いやりと高潔さをもって“Mastery for Service”を体現し、地域社会・国際社会の発展に寄与する「世界市民」としての資質を身につけます。



関西学院短期大学*

保育に関する専門知識と実践力で、
子どもの幸せに貢献できる保育者を養成

少人数授業やアドバイザー制度など、きめ細かい教育を実施。3つのH(Head:真理の探求、Heart:自分を愛し人を愛する心、Hand:奉仕と実践)を大切にすることを教育の理念とし、専門性と実践力を持つ保育者を育てます。



※2024年4月、大学名称を「関西学院短期大学」へ変更し「共学」となりました。

基本情報

■ 時間割

各教科等の週あたり授業時数 2024年度/後期B週

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	8.5	9	7	7	5	5
社会	・	・	2	2	3	3
算数	4	5.5	5	5	6	6
理科	・	・	2	3	3	3
生活	3	3	・	・	・	・
音楽	2	2	2	2	2	2
図工	2	2	2	2	2	2
家庭	・	・	・	・	2	2
体育	3	3	3	3	3	3
聖書	1	1	1	1	1	1
英語	20分×5	20分×5	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2	45分×3 20分×2
学活	1	1	1	1	1	1
総合	・	・	1	1	1	1
クラブ・委員会	・	・	・	1/2	1	1
こころの時間	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5	15分×5

■ 時程表

始業	8:25
朝の会	8:25~8:35
こころの時間	8:40~8:55
1限	9:00~9:45
2限	9:55~10:40
	通常授業時程 7時間授業時程
フリータイム	10:40~10:55
3限	11:00~11:45
4限	11:55~12:40
昼礼・ランチタイム	12:40~13:05
フリータイム (木曜日のみクリーンタイム)	13:05~13:20
5限	13:25~14:10
6限	14:20~15:05
7限	- 15:15~16:00
5限までの時	14:10~14:20
終礼 6限までの時	15:05~15:15
7限までの時	- 16:00~16:10
最終下校	16:00(5限終了時は15:00) -

学内外でのサポート

■ カウンセリング



常駐のスクールカウンセラーが子どもたちのさまざまな悩みと向き合い、一緒に解決します。また、保護者の方々のご相談にも迅速かつ丁寧に対応しています。

※児童と保護者を対象にした完全予約制で、プライバシーにも配慮しています。

[動画で詳しく!](#)

■ 安全面の取り組み



ミマモルメ
全児童が携帯するICタグを通して、正門を通過すると子どもたちの登下校の情報が学校・保護者にメールで配信されます。緊急連絡時には、指定のメールアドレスに連絡できるなど、迅速かつ確実な情報伝達を行える環境を整えています。



避難訓練
地震、水害、火災などさまざまな状況を想定した避難訓練を毎学期実施。万一の事態に対応できるよう、子どもたちも真剣に取り組んでいます。

PICK UP

「きょうの初等部」

初等部HPでは日々の学校生活をブログ形式で紹介しています。



[詳しくはこちら](#)



■ 学校基礎データ (2024年2月1日現在)

児童数	539人(男246人 女293人)
	1学年/3クラス 1クラス/30人
教員数	33人(他、講師14人)

■ 学費・その他諸費(年額)/2024年度

学費	授業料	1,035,000円
	教材・学年宿泊行事等前納金	65,000円
	図書購入費	1,000円
その他 の諸費	ICT関連費	12,000円
	PTA会費	15,000円
	修学旅行費積立金(1~5年次)	120,000円
	後援会費	3,000円
	同窓会入会金(初年度のみ)	2,000円
合計		1,253,000円

※これらの他に、制服・体操服・iPad等の制成品費が別途必要となります。詳細は入学時にお知らせします。

■ 制服紹介

本学指定の制服を着用いただきます。濃紺と白を基調とした制服。品位と機能性を追求したデザインです。



■ 関西学院全体の取り組み

中学部・高等部との交流

中学部・高等部の生徒による初等部訪問や中学部の授業見学など、双方の交流の機会を設けています。早期から進学後の発展的な学びの意識を持たせると共に、広い社会性を身につけるきっかけとなっています。



KGSO (Kwansei Gakuin Sports Omnibus)

関西学院大学体育会の学生によるスポーツ教室を実施しています。

[詳しくはP.08へ](#)

関西学院大学留学生と交流

4・5・6年生は、関西学院大学の留学生と交流を行います。

[詳しくはP.06へ](#)

初等部の施設





大人になるにつれて実感する
初等部時代に築いた「つながり」の大切さ。

関西学院大学大学院 理工学研究科
生命医化学専攻 博士課程前期課程 在学中

西村 直泰 さん



初等部
時代

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

特に印象的な思い出は6年生の時に学年全員で上ヶ原キャンパスの中央講堂で合唱を披露したことです。音楽の秋山先生と同級生と心を合わせて合唱するという経験がその後の学生生活や部活動において大きな財産になりました。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

初等部卒業後は中学部、高等部とサッカー部に所属し、素晴らしい先生方や仲間に恵まれ高等部時代に50年ぶりの冬のサッカー選手権大会に出場することができました。また、大学時代にはサッカーの楽しさを伝えたいと思い、中学部サッカー部の学生コーチとして2年間活動しました。

Q 将来の進路に向けて、抱負をお願いします。

現在は関西学院大学大学院でガンの発症メカニズムを解明し、治療薬に応用しようとする研究を行っております。この進路を選んだ理由としては、祖父や祖母をガンで亡くしている経験からガンという病気が身近なものであるからです。将来、ガンによって苦しむ患者さんや亡くられる方を減らせるように日々研究しています。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

僕自身、大人になるにつれて初等部の先生方や同級生、先輩、後輩全てを含めた環境がいかに素晴らしいものであったのかを感じました。今、そのような素晴らしい環境や仲間に恵まれたこと、そして教えてください。先生や支えてくださる職員の皆さんへの感謝の気持ちを持って“Mastery for Service”を体現できる人に成長して欲しいと思います。

関西学院大学 国際学部 在学中
田中 ねね さん



初等部
時代



関西学院で磨いた個性と経験を武器にして
人々の生活を支えていきたい。

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

初等部の行事はどれも非常に印象に残るものばかりですが、特に文化祭が思い出深いです。先生の熱いご指導の下、音楽を通して皆の個性や力を合わせて一つのものを作り上げることにとても感動や達成感を覚えました。文化祭をはじめ、たくさんの思い出が詰まったチャペルは、初等部生活を象徴する大切な場所です。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

中大大それぞれ異なるスポーツを経験し、部活に打ち込みました。大学では合気道部に途中入部し、異例の女子主将として全国制覇を達成しました。勉学面では、中学の頃から海外プログラムに参加し、大学で国際学部に入部、コロナ禍を経て交換留学を経験し、経験と視野を広げました。大学生活ではできることは全て挑戦しようと思ひ、部活、留学、資格取得、アルバイトの両立を心がけました。

Q 4月からの新生活に向けて、抱負をお願いします。

4月からは関西学院を離れ、社会人としての毎日が始まります。この先大変なことに多く直面すると思いますが、学生生活を通して培った多くの経験や自分らしさ、感謝の気持ちを忘れずに、社会や人々の生活を豊かにできる仕事ができるよう、成長していきたいです。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

初等部に通っていることはとても恵まれたことで、そこでのたくさんの学びや経験は必ず今後の糧になります。行動や考え次第で自分の可能性や世界は間違いなく広げられると思うので、たくさん挑戦や経験してみてください。そして、強く優しい心を持ってこれからの学生生活を楽しんでください！

K.G. 関学ファミリーからのメッセージ



初等部
時代

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校 在学中
スーパーキッズ・オーケストラ 第17代コンサート・ミストレス
井上 愛悠奈 さん

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

毎回、聖書の授業が楽しみでした。人として大切なことは何か、生きる意味とは何かを学ぶことができました。対人関係において迷った時にも、ふと聖書の言葉を思い出し、行動していたように思います。今の私の人格形成に関わっていることを実感しています。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

中学部に進学後、2歳から始めたヴァイオリンを専門的に学び、生涯の仕事にしたいと思い、東京藝術大学音楽学部附属音楽高校に進学しました。15歳で上京し、友人と切磋琢磨し学びを深めた日々は、かけがえのない時間でした。授業ではオーケストラや室内楽などを学び、チームプレーで一つの音楽を創り上げていく喜びは、初等部の頃合唱や合奏で得た感動と通ずるものがあります。

Q 将来の進路に向けて、抱負をお願いします。

東京藝術大学音楽学部器楽科への進学を希望しています。受験は共通テスト、1~3次の実技試験があります。簡単ではありませんが、進学して更に音楽の専門性を高め、近い将来海外留学も視野に入れ、ヴァイオリンの技術を磨いていきたいです。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

お客様に私の想いが届く演奏を聴いていただくには、日々の努力が必要です。私の尊敬する音楽家に、「練習の時は自分を世界一下手な奏者だと思え。本番の時は自分は世界一上手な奏者だと思え。」と教わりました。目標に向かって努力していけば、きっとなりたい自分になれると信じています。常に謙虚に誠実に、初等部で学んだ感謝の気持ちを忘れず、一緒に頑張りましょう！



聖書を通じた学びの数々が
現在の私につながっている。



初等部
時代

上智大学 国際教養学部 国際教養学科 在学中
大森 星空 さん

Q 初等部時代の思い出、印象的な出来事を教えてください。

CCT(カナダ・コミュニケーション・ツアー)とそれに向けて行っていた光(英語)の時間です。毎日CCTを楽しみながら授業に参加していた記憶があります。実際にCCTに参加した際も、小学生の私たちの英語力だけでバンクーバーの街中を探検するプログラムや現地校の生徒と交流する機会などが多く用意されており、非常にいい経験となりました。

Q 初等部卒業後の学生生活について教えてください。

自身の英語力をより伸ばすため、高校は千里国際を選択しました。千里国際では生徒一人ひとりの目標に合わせた授業の選択が可能で、実用的かつ学術的な英語が学べる授業を履修し、言語力向上を図りました。そして高校卒業後は全ての授業を英語で行うプログラムがある上智大学へ進学しました。大学では勉学の傍ら、国際機関での長期インターンシップと大学の学生団体での活動に注力しました。インターンシップでは、貧困層の自立支援にかかわる施策を学ぶためにタンザニアで7週間活動を行い、学生団体では、バラスポーツを通して共生社会のあり方について考えるための活動に取り組みしました。

Q 将来の進路に向けて、抱負をお願いします。

今後は自身の英語力を活かしつつ、誰かの生活を根底から支えられるような仕事に従事したいと考えております。初等部で学んだ“Mastery for Service”の精神を体現できる社会人になれるように、現在就職活動を行っております。

Q 初等部の後輩たちへメッセージをお願いします。

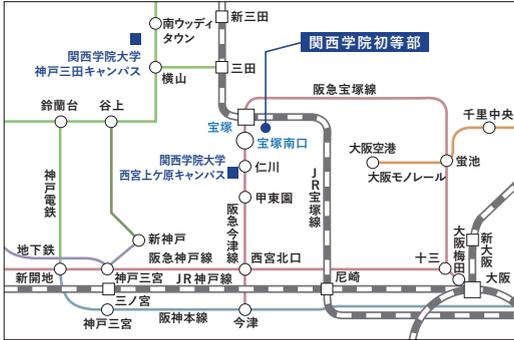
初等部での6年間の日々があったからこそ今の自分があるといっても過言ではないと思います。なので、自身の限界を自分で決めず、さまざまなことに挑戦してみてください。関西学院にはさまざまな環境が整っており、その挑戦を応援してくださる先生方がたくさんいらっしゃいます。その中で挑戦することが、みなさんが「世界市民」に近づく第一歩になると考えます。挑戦することを大切に、これからも初等部生活を楽しんでください！



初等部の頃から学び続ける「英語」を活かして
人々の生活を支える存在に。

Access

阪急電鉄「宝塚」駅下車1,100m／阪急電鉄「宝塚南口」駅下車800m
JR「宝塚」駅下車1,200m



Event

入試イベントスケジュール

入試イベントの詳細および
お申込みは、こちらまで



学校説明会(初等部) >> 2024年 4月13日(土)

オープン授業+個別相談会
(初等部) >> 2024年 5月11日(土)

入試説明会+個別相談会
(上ヶ原キャンパス/保護者のみ) >> 2024年 6月22日(土)

A入試(初等部) >> 2024年 9月9日(月)

B入試(初等部) >> 2024年 10月19日(土)

※ただし、状況により、記載内容に変更・中止が生じる場合があります。



小学校入学準備のための
お役立ち情報を配信しています。

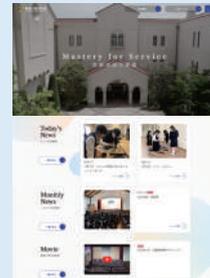


学校、そして児童の日常を 知っていただくために



関西学院初等部のホームページでは、入試情報のほか、毎日の学校の様子を紹介する「きょうの初等部」、「動画で見る初等部」など、さまざまなコンテンツを通して児童の日常生活や学校の雰囲気をお届けしています。

関西学院初等部ホームページ <https://es.kwansei.ac.jp>



関西学院初等部

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27

TEL:0797-81-5500

FAX:0797-81-5010

E-mail:shotoubu@kwansei.ac.jp